

## 1 NTT グループのグローバル事業再編

# NTTグループにおけるビジネスユーザ向けグローバル事業の強化に向けた再編について

NTT データグループの海外事業の更なる成長を企図して、NTT グループにおけるグローバル事業強化に向けた再編が発表されたが、1章で本海外事業統合の目的・狙い、2章以降では海外事業統合を戦略に組み込んだ NTT データの新中期経営計画についての目的・狙い・内容について紹介する。

### はじめに

5月9日にNTTの澤田社長（現会長）とNTTデータの本間社長による共同記者会見が開かれ、NTTグループのグローバル持株会社であるNTT, Inc. 及びグローバル通信事業を営むNTT Limited（以下NTT Ltd.）を、NTTデータの傘下に移管し、NTT, Inc. 及びNTT Ltd. の下で営むグローバル事業とNTTデータグループのグローバル事業の統合を発表した。

また、5月12日のNTTデータの決算発表において、本海外事業統合を踏まえた、2022年度から2025年度の中期経営計画を発表した。新中期経営計画の経営目標値や戦略、サステナビリティ経営の背景や狙いについて紹介する。

### NTTグループのグローバル事業

5月9日の共同記者会見では澤田社長（現会長）からNTTグループのグローバル事業の状況やお客様ニーズの多様化・高度化、社会・テクノロジーの変化に合わせ、更なる

取り組みの強化として、グローバルガバナンスの強化や、ビジネスユーザ向けグローバル事業能力の強化が不可欠であることが説明された。

また、NTTグループのグローバル戦略に対し、NTTデータから、ビジネスユーザ向けグローバル事業能力の強化に向け、NTTデータとNTT Ltd. の事業統合について、NTTへ提案があったことを踏まえ、グローバル戦略の全体イメージが示された。

NTTグループ全体イメージは、縦軸を3つの階層（Application、Platform、Infrastructure）およびその他（R&D、IOWN要素技術）、横軸をB2B、B2B2X、B2Cで分類した場合、NTTデータとNTT Ltd. は



株式会社 NTT データ  
常務執行役員  
コーポレート統括本部長 佐々木 裕氏

ビジネスユーザ向け事業を実施し、今後を見据え ORAN/vRAN ビジネスや R & D・IOWN は NTT グループと連携してビジネスを拡大していく位置付けとなる。

また、5月12日のNTTの決算発表において、セグメントの変更が示された。NTTデータとNTT Ltd.

	B2B*	B2B2X	B2C
Application データ見える化・活用	ビジネスユーザ向け事業 (NTTデータ・NTT Ltd.)		アプリ、サービス、 端末、各領域での 参入を検討
Platform データ集積・解析			
Infrastructure データ収集・流通			
その他	ORAN/vRANビジネス推進		
	R&D、IOWN要素技術 等		

\* NTTコミュニケーションズが実施している日系ビジネスユーザ向けのグローバル事業については、引き続きNTTコミュニケーションズにおいて実施

図1 NTTグループのグローバル戦略の全体イメージ

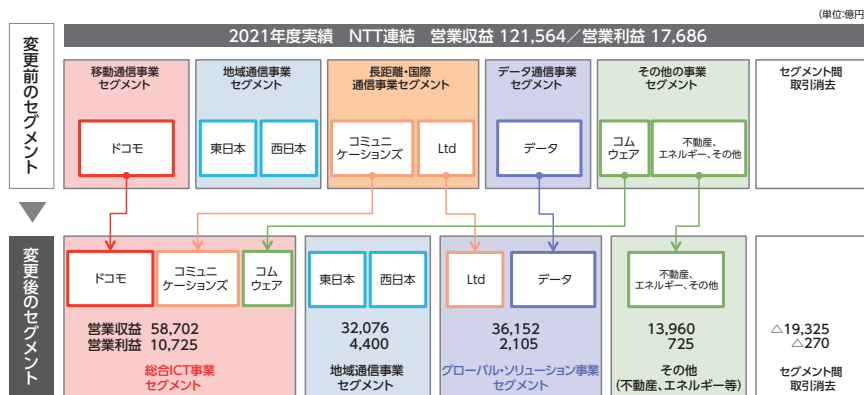


図2 NTTグループの新セグメント

は今後、グローバル・ソリューション事業セグメントとして開示されることとなり、NTTグループの中ではグローバルの事業をリードしていく位置付けがより明確となり、グローバルプレイヤーとしての確固たる地位の確立をめざす。

グループ一体で事業展開していくのが中長期的な戦略として取るべき方向性であると考えた。

### NTT データと NTT Ltd. の事業統合の目的、狙い

2022年10月に NTT データと

NTT Ltd. の海外事業を統合する。

今回の事業統合により 2021 年度業績の年間ベースの単純合算では売上高約 3.5 兆円、従業員数約 18 万人、海外売上高比率約 60%となり、NTT データ、NTT Ltd. 双方にとって、大きなビジネス上の転換期となる。

本海外事業統合の狙いは大きく 3 つある。

1 つ目は「グローバルプレゼンスの向上」である。NTT データでは事業を推進する上で各国のマーケットシェアが 2%以上であることがブランド価値を高め、ビジネスを拡大できる一つの基準と考えている。NTT Ltd. との事業統合により、マーケットシェア 2%以上の国・地域が事業統合前の 5ヶ国から事業統合

### NTT データにおける海外事業

これまで、NTT データは、国内での堅調な事業拡大に加えて、海外においては M&A を活用し、事業規模を拡大してきた。特に、海外事業については、デジタル対応力の強化と収益性改善を目的とした事業構造改革に取り組むことにより一定の成果が出てきている。しかしながら、グローバルを展望した事業環境の変化を踏まえ、これからのお客様事業の成長に貢献し、長きにわたり社会インフラを支える真の Trusted Global Innovator となるためには、NTT グループ連携をもう一段加速し、更なる事業競争力の強化に取り組んでいく必要がある。

そこで NTT グループにおいて、NTT データ、及び NTT Ltd. のそれぞれが事業運営を行ってきたビジネスユーザ向け海外事業を統合し、グ

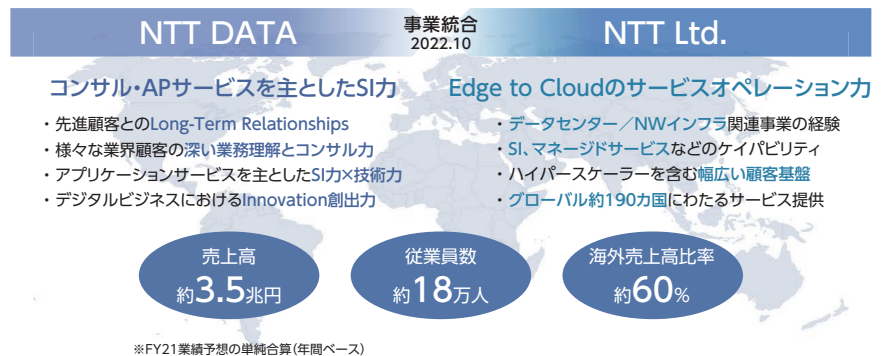


図3 NTT データと NTT Ltd. の事業統合について

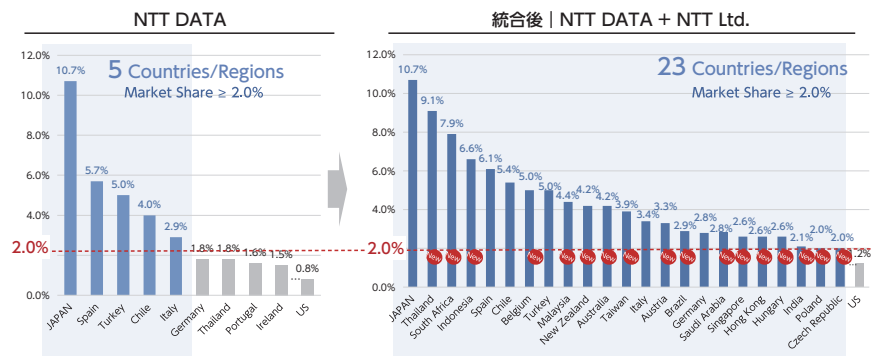


図4 国・地域におけるマーケットシェアについて

後は 23 ヶ国に拡大する。これはブランド認知度が高い国が大幅に増えることになり、グローバルビジネスを進める上では非常に大きな効果がある。

2 つ目は、「フルスタックサービス・ソリューションの提供」である。具体的には NTT データの持つコンサルティング、アプリケーション開発等のケイパビリティと、NTT Ltd. が得意とするデータセンター、ネットワーク、マネージドサービス等の高付加価値サービスを組み合わせ、お客様にトータルで新たな価値を提供するとともに、長期的には NTT の IOWN 技術を活用した革新的なサービスをグローバルで展開していく。

3 つ目は「グローバルガバナンスの強化」である。NTT グループのグローバル人材を結集することで、海外各地域における事業特性やお客様特性等に合わせた迅速な意思決定を実現していく。

### 事業統合スキームとスケジュール

2022 年 10 月 1 日に NTT データ 55%、NTT 45% の共同出資により、海外事業会社を設立する。共同出資とすることで、戦略面・実務面での NTT 連携を進め、海外事業の成長を実現していく。

また 2023 年 7 月には、国内事業会社を設立し、NTT データの持株会社の傘下に国内事業会社、海外事業会社を配置する事業運営体制に移行する計画である。国内事業については、順調な事業成長により 1.5 兆円を超える事業規模になっており、また、多くのお客様を抱えていることから、国内事業会社を中心に自律

的な事業運営を推進していく。

新たな事業運営体制により、外部環境の変化及び地域マーケットに応じた迅速な意思決定、機動性の向上、柔軟な制度設計等を通じて、より一層のガバナンス強化を進めていく。NTT データの持株会社はグループ全体最適の視点からの成長戦略の策定・遂行、経営管理等に特化し、グループ全体の企業価値向上に努めていく。

### 更なるお客様事業の成長と社会課題の解決に向けて

新生 NTT データは、更なる成長に向けて、統一した戦略のもと、NTT データと NTT Ltd. の両社の強みを掛け合わせ、お客様事業の成長

と社会課題の解決に貢献していく。

企業・業界の枠を超えた新たな社会プラットフォームや革新的なサービスの創出に取り組んでいくとともに、将来的には NTT の IOWN 技術を活用した革新的なサービスをグローバルで展開し、サステナブルな未来のしくみを創造できる企業をめざしていく。

本海外事業統合は、世界のお客様に対する一元的な理解を促進させ、世界中のお客様からより信頼されるブランドとなるとともに、事業競争力の強化による更なる成長と企業価値向上を実現するものと考えている。

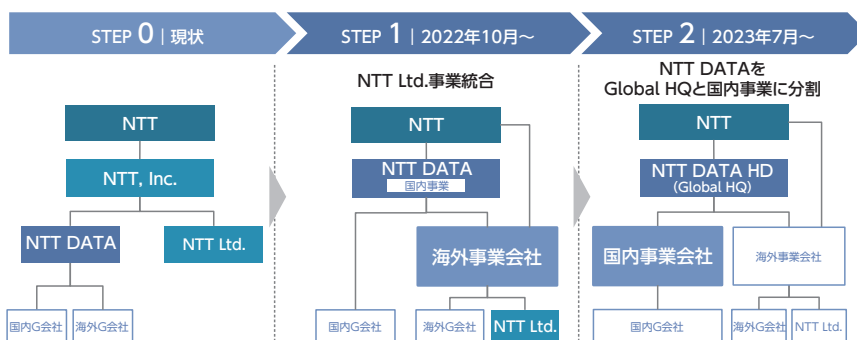


図5 事業統合スケジュール



図6 事業統合によって創出する提供価値